

令和2年 第4回定例会

一 般 質 問

〔個人質問〕

印西市議会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	1 番	柿 原 健 一	一括方式
2	1 0 番	櫻 井 正 夫	一問一答方式
3	1 9 番	金 丸 和 史	一問一答方式
4	5 番	伊 藤 真 一	登壇一問一答方式
5	3 番	藤 江 研 一	一問一答方式
6	2 0 番	山 田 喜代子	登壇一問一答方式
7	2 番	梶 原 友 雄	一問一答方式
8	8 番	玉 木 実	登壇一問一答方式
9	1 4 番	中 澤 俊 介	一問一答方式
1 0	1 1 番	浅 沼 美弥子	一括方式
1 1	7 番	小 川 利 彦	一問一答方式
1 2	1 3 番	海老原 作 一	登壇一問一答方式
1 3	6 番	稲 葉 健	登壇一問一答方式
1 4	4 番	松 本 有利子	一問一答方式
1 5	1 7 番	松 尾 榮 子	一問一答方式
1 6	1 6 番	増 田 葉 子	一問一答方式
1 7	1 8 番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答方式

質 問 1

質問者 1番 柿 原 健 一

1 高齢者福祉の情報徹底について

- (1) 5地域の地域包括支援センターは、出前講座の依頼を待たず、進んで市民の生活基盤である市内178の町内会が開催される日に出向き、町内会役員と班長の方々に地域包括支援センターの存在と役割、併せて現行のサービス内容を周知徹底する機会を設けていただきたい。情報を広め徹底するこの種の行動で、「共助」の対応が期待できると考えているが、いかがか。
- (2) 地域包括支援センターの活動は、連絡を受けてからの対応になるが、高齢者の独居や2人暮らしの世帯では、情報の欠如や決断の遅延によって困りごとの発信ができない場合もある。地域包括支援センターは、当事者からや民生委員からの相談要請を受けるだけでなく、当事者の近隣の方々からの情報でも訪問して対応できる「高齢者の暮らしの窓口」となる組織を目指して欲しいと期待しているが実施対応できるか伺う。

2 印西市空家等の適切な管理に関する条例施行後の対応について

- (1) 昨年（2019年）の12月4日に個人質問で市民から寄せられた空家の相談件数で未解決物件が12件あるとの回答でした。その後の追加物件も含め、条例公布後に解決した件数を伺う。また、その解決に「空家バンク制度」への登録事例は何件あったか伺う。
- (2) 市からの連絡に対し、全く反応のない空家所有者への対応は、段階的強化を図るべきと考えるが、市として「特定空家」への指定手続きを経て強制執行による解決を図る考えはないか伺う。
- (3) 空家の草木繁茂については、「特定空家」の指定後、空家所有者と町内会との合意により町内会有志による伐採対応等も考えられるが、市の担当部署が空家所有者と町内会との間に立った調整活動をするという解決へのシナリオについて実施できないか伺う。

質 問 2

質問者 10番 櫻 井 正 夫

- 1 イノシシの駆除について
 - (1) 現在の被害状況を伺う
 - (2) 答弁では、適正に駆除をしていきたいとのことでしたが、捕獲数の計画はされているのか伺う
 - (3) 印西市は、ほとんど禁猟区と思われませんが、猟区はどの位の面積があるか伺う
 - (4) 狩猟期間とありますが、実際に散弾銃、ライフル銃等で捕獲されることはあるのか伺う
 - (5) 電気柵の下からイノシシの子どもは入ってしまうとのことですが、これも指導された方が良いと思うが、考えを伺う
 - (6) 毎年、休耕田が広がっています。温床になりかねないと思いますので、行政として、早急に休耕田を、どのようにしていかなければならないのか、考えを伺う

- 2 印西市議会第3回定例会で質問しました、師戸地区の損傷道路の進捗状況について伺う

- 3 近隣の被害関係について
 - (1) 隣家との件で、いろいろな境の問題があると思います。大木になり幹が覆い被さる状態、また、ブロック塀等の倒壊の心配など様々な被害に結びつく危険性はどこまで指導されているか伺う
 - (2) 屋根材が今にも強風で飛ばされるような状態の時、市として是正のお願いはできるのか伺う

- 4 道路関係について
 - (1) 国道、県道、市道、私道は、どのように区別されているのか伺う
 - (2) ガードレールの設置は、国道、県道、市道で、その管理下で取付けされるか伺う
 - (3) U字溝、縁石、歩道等、取付補修等も各管理下の業務なのか伺う
 - (4) 今、いちばん大変な草刈り等も、各管理下でされているのか伺う
 - (5) 昔からよく、赤道、公道と聞きますが、別々の意味があるのか伺う
 - (6) 大通りと大通りで結ばれている私道は、道路とみなされるのか伺う

- (7) 道路に必要なセンターライン、追い越し禁止、側面ライン、諸々のラインについても、各管理下で別々な作業なのか伺う
- (8) ゴルフ場等ができて、昔の道路が通行不能な箇所が多々ありますが、簡単に廃道できるのか伺う
- (9) 廃道された場合、その前の道の面積の行方を伺う
- (10) 道路の補修工事ですが、これも道路の区分けで工事されるのか伺う
- (11) 今、印西市は、流通拠点があちらこちらにできて、大型トラックが数多く走行しております。この大型トラックの通行により道路の傷みが早くなっております。印西市に登録されている大型トラックから道路を直す費用をいただくこともありと思うが、考えを伺う

5 師戸地区の市有地について

- (1) 師戸地区の市有地でブルーベリー農園が手早く耕作できると夏に視察されましたが、予想に値するか伺う
- (2) 300平方メートル程度に区分けして、柿、栗、みかん等の果樹を植樹したらと思うが、考えを伺う
- (3) 師戸地区の市有地は、強い南風が吹くところですので、防風林として10メートル程にしか生育しない立木をすぐに植樹できないか伺う
- (4) 市有地の中程に水路があります。ここへメダカやホタル等の生物を生育したいと思うが、考えを伺う

質 問 3

質問者 19番 金丸和史

1 公共施設の土地又は建物の賃貸借契約に関する事

- (1) 契約は書面によって、行っているか。
- (2) 契約の期間はどのようにしているのか。
- (3) 単価はどのように算定しているのか。
- (4) 契約更新の際の交渉はどのようにしているのか。
- (5) 今後の方針はどのように考えているのか。

2 9月28日に発生した停電に関する事

- (1) 停電の影響はどの程度だったのか。
- (2) 停電の原因は聞いているのか。

質 問 4

質問者 5番 伊 藤 真 一

1 コロナ対策の強化について

新型コロナ感染者数は全国的に顕著に増加しており、第3波が始まったといえる状況です。気温、湿度ともに下がる冬に向けて、「検査・保護・追跡」の抜本的強化が求められています。

- (1) 感染の疑いのある人が、PCR検査を受けるための手順の更なる周知徹底をするべきと思いますが、市としてどの様に考えているのか伺います。
- (2) 無症状感染者への対策は、十分に取れているのか伺います。
- (3) 濃厚接触者はもとより、感染集中地の検査を進めるべきと思いますが、市としての考えを伺います。

2 コロナ禍で広がる雇用と事業の危機について

新型コロナが襲ったことで、家計、雇用、中小企業は、深刻な危機に直面しています。雇用と事業を維持し、持続できるように支援することが、いま求められる最重点の経済政策です。

- (1) 市では事業者も経営不振、勤労者の失業等、市民の暮らしに関わる状況を把握しているのか伺います。
- (2) 市民の暮らしを守るため、現状を調査して問題点を明らかにし、対策を立てるために、アンケートを行うべきではないでしょうか伺います。
- (3) 市内の飲食業、小売業等の事業者は未だに売り上げ減が続いています。前回の事業者への支援策の検証はどうであったのでしょうか。また、現在も困っている状況から、市独自の再支援策を検討すべきと思いますが、考えてを伺います。

3 自宅まで来るデマンドタクシーの実現について

駅やバス停から遠い交通不便地域は市内に散在しており、バス停まで行けない高齢者、体の不自由な人などから早期実現が求められています。

- (1) 印西市でも、導入する必要があると思いますが、市の考えを伺います。
- (2) 市として全地域に「自宅まで来るデマンドタクシー」が必要としている人が、どの位いるのか把握するために、全世帯にアンケート調査をする必要があると思いますが、市の考えを伺います。
- (3) 今後、高齢化が進み、バス停まで行くことが困難な人が増え続けることは必至と考えることから、「印西市地域公共交通計画」の中で、「自宅まで来るデマンドタクシー」の実証運行計画をたてる必要があると思いますが、考えを伺います。

質 問 5

質問者 3番 藤 江 研 一

- 1 子育て安心社会の実現について
 - (1) 待機児童ゼロの推進について
 - ①定員増の状況
 - ②必要な保育士の確保
 - ③障がい者家庭児童の保育園入園
 - (2) ヤングケアラーについて
 - (3) 子どもの学習、生活支援事業の状況について
 - (4) 1人1台のパソコン導入と今後の課題について
 - (5) 30人以下の少人数学級の導入と課題について
 - (6) 3歳児の眼科健診用機器の導入について
 - (7) 本の通帳など市民の読書促進策について
- 2 民有地の斜面崩落対策について

質 問 6

質問者 20番 山 田 喜代子

- 1 新型コロナウイルス感染防止対策について
市内の感染者は日を追って増えている。感染拡大を抑えるカギは、PCR等検査の抜本的拡充だ。他の自治体では独自に実施しており、最近では、船橋市が高齢者施設と障がい者施設の新規入所者を対象に無料でPCR検査を行うと発表した。
市として、市民の命と健康を守るため、早急に実施すべきと考える。市の考えはどうか。
- 2 コロナ禍の今、少人数学級の実現を
コロナ禍は、子どもたちが学び、成長する「学校」の重要性、公教育の役割を再認識させる機会となった。今こそ少人数学級の実現が求められている。
見解を伺う。

- 3 市民の安全を守る道路パトロールについて
市内の道路環境を守る道路パトロールの目的、実績はどうか。どの様な課題があり、どう解決に向けて取り組んでいく考えか。
- 4 利用しやすい生活保護制度について
制度の周知に向け、市は「制度のQ&A」を作成、公共施設に設置したことは、大いに評価したい。一方で利用者にとって利用しにくい面もあり、例えば、医療機関での窓口での申請方法、移送費の償還払い等がある。利用者の立場に立って改善する考えはないか。
- 5 司書の配置（図書館及び学校図書館）について
教育委員会として、司書の配置についての指針、目標など設定しているのか。現在の配置状況についての見解を伺う。

質 問 7

質問者 2番 梶 原 友 雄

- 1 いんざい応援クーポンについて
 - (1) 成果についての検証は
 - (2) クーポンの遅配原因は
 - (3) 市内飲食店の反応は
- 2 新型コロナウイルス感染症対策交通事業者支援について
 - (1) コロナ感染の疑い患者の送迎は
 - (2) 事業者の消毒体制は
- 3 ひきこもり対策について
 - (1) ひきこもり対策推進事業の活用状況は
 - (2) 中高年のひきこもりについて
 - (3) ひきこもり相談窓口は

質 問 8

質問者 8番 玉 木 実

- 1 印西市による「パークマネジメントプラン」の導入は
 - (1) 市民一人当たりの都市公園の量（広さ）から、質へ
 - (2) 地球温暖化が進む中での幼少者への都市公園の在り方
 - (3) 若者が望むスポーツ公園化
 - (4) 高齢者が安心して活用できるトイレの設置される公園像
 - (5) 指定管理者による官民連携の可能性はあるか

- 2 印西独自の取り組み「一時金支給とクーポン券支給」の成果と課題
 - (1) 一時金支給の成果と課題点は
 - (2) 商工会登録された事業所と支給された事業所の差はありましたか
 - (3) 中小企業者等のアンケート調査はどうでしたか
 - (4) クーポン券発券について、市民に多少なりともの負担してもらおう議論はありましたか
 - (5) 9月より使用可能と知らせておきながら、すべての家庭に届いたのは9月半ば過ぎになったのはどうしてですか
 - (6) クーポン券発行に対して、郵便局との連携はありましたか
 - (7) 途中経過ですが、使用状況はいかがですか。課題はありますか
 - (8) 第2次補正予算の活用にクーポン券発行が適用されましたか

- 3 国道16号線渋滞緩和対策としての千葉柏道路の建設計画は。
 - (1) 第二16号線として、慢性渋滞緩和策としての千葉柏道路のその後の進捗状況はいかに。
 - (2) 木下街道からコスモスキッチン前の船橋印西線への未開通道路の関連性はいかに考えていますか。

質 問 9

質問者 14番 中 澤 俊 介

- 1 医療・健康・新型コロナ対策について
 - (1) 後期高齢者医療の課題を伺う
 - ①印西市の一人当たり医療費の評価と対応
 - ②生活習慣病の予防事業
 - ③医療費適正化事業の効果
 - (2) 市民の健康を守る取り組みを伺う
 - ①健康診査の数値目標
 - ②フレイル予防事業
 - ③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の導入
 - (3) 新型コロナウイルス第3波の対策を伺う
 - ①コロナ・インフル同時流行に備えた発熱外来、相談窓口の設置状況
 - ②PCR検査体制（自費・公費）
 - ③クラスター対策
 - ④市内医療機関、介護事業者、保育事業者等の経営状況
 - ⑤マスク・消毒薬等の備蓄状況

質 問 10

質問者 11番 浅 沼 美弥子

- 1 行政改革、市民サービスの向上について
 - (1) 行政手続における押印廃止
 - (2) 行政手続きのデジタル化でオンライン申請の推進
 - (3) 印西市債権管理条例の制定

- 2 誰一人取り残さないセーフティネットの構築について
 - (1) 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化
 - ①住居に関する相談件数、住居確保給付金の申請件数、支給決定件数等の実績、前年比の状況
 - ②住宅セーフティネット制度の活用

- (2) 断らない相談窓口等包括的支援体制の構築
- (3) 避難行動要支援者への取組
- (4) 若者支援策について
 - ①高校生世代等への支援
 - ②結婚新生活支援事業の実施
 - ③産後ケア事業の利用者負担軽減、対象者の拡大

質 問 1 1

質問者 7番 小 川 利 彦

1 これからの印西市について

印西市第1次基本計画（素案）【令和3年～7年度】が、示されております。

印西市の施策を実現していく必要な計画であることは理解しており、この計画に示されている一部について伺います。

- (1) 人口減少となる事への対策について
- (2) 税収減による行政サービス低下の対策について
- (3) 市内の適正な土地利用について
- (4) 市内の居住環境について
- (5) 市街地の拡張について
- (6) 今後の印西市について

2 自然災害の対応について

毎年、日本のどこかで自然災害は発生している様な状況下において、我が印西市では今年度は大きな被害も無く平穏な日々であります。昨年の台風15号・19号・10月25日の豪雨災害では甚大な被害が発生し、市職員・消防職団員等の方々の活躍があった事は、皆様にも記憶にあると思います。また、市職員さんは災害発生後も罹災証明書発行など、数々の事務手続きがなされておりますが、災害現場は手付かずの部分もありますので、対応等について伺います。

- (1) 令和元年度中の自然災害による市道の被害状況について
- (2) 令和2年度中の復旧作業状況について
- (3) 民地等のがけ崩れの対応について
- (4) 今後の対応について

質 問 1 2

質問者 1 3 番 海老原 作 一

- 1 救急救命活動への連携支援について
 - (1) 救急医療情報キット配布事業について
 - ①事業開始からの各年度における新規配布実績及び利用者数について
 - ②本事業に対する事業評価はどうか
 - ③救急搬送時の救急医療情報キットの活用実績を把握しているか
 - ④救急医療情報キットの活用上の課題をどう認識しているか
 - ⑤本事業のブラッシュアップに必要な行為についてどう考えるか
 - (2) 介護施設における救急医療情報シートの活用状況について
 - ①救急搬送時の救急医療情報シートの活用実績を把握しているか
 - ②活用上の課題をどう認識しているか
 - ③課題を踏まえて市内介護施設に対して更なる依頼をしてはどうか
- 2 情報の伝達手段の変換について
 - (1) 市民団体との紙ベースによる情報の伝達手段のコストについて
 - (2) 今後、情報の伝達手段を変換していく考えはあるか

質 問 1 3

質問者 6 番 稲 葉 健

- 1 オンライン資格確認について
令和3年3月より医療機関・薬局においてマイナンバーカードを用いたオンライン資格確認の導入が始まる。
 - (1) 医療機関・薬局で何が変わるか
 - (2) 加入者として何が変わるのか
 - (3) マイナンバーカードを用いて本人からの同意について伺う
 - (4) 患者の薬剤情報・特定健診等情報が有資格者等が閲覧できるようになるが閲覧者の具体的な制限や閲覧内容について伺う
 - (5) 導入にあたり各医療機関・薬局への周知や市民への周知はどのように行っていくか

2 認知症対策について

- (1) 市内の認知症患者数について伺う
- (2) 認知症事故救済制度への取り組みについて
- (3) 市が費用を負担して広く認知症診断を受けてもらう事は出来ないか
- (4) 認知症条例についての市の考えを伺う

3 行政手続きの認め印全廃について

- (1) 市の対応について伺う
- (2) 実施の時期について伺う
- (3) 行政手続きのオンライン化について伺う

4 市民からの要望について

- (1) 宅配ボックス設置費用の補助について
- (2) ドライブレコーダー設置費用の補助について

質 問 1 4

質問者 4番 松 本 有利子

1 小中学校のICT教育について

- (1) 市が目指す教育の在り方について伺う
 - ① ICT教育を取り入れることで、先生の指導方法がどのように変化することを目指しているか伺う
 - ② ICT教育によって、生徒が何を習得することを目指しているのか伺う
 - ③ ICT教育を通して、市が最終的に目指す教育の在り方について伺う
 - ④次期総合計画や印西市教育振興基本計画への反映について伺う
- (2) ヘルプ体制について
 - ①全体のパソコンの整備やヘルプデスクは何人体制で取り組んでいるか伺う
 - ②授業中のヘルプ体制について伺う
 - ③ ICT支援員等の配置の予定について伺う
- (3) 大型掲示装置の導入について伺う
- (4) 生徒のパソコンの持ち帰りについて市の考えを伺う
- (5) 不登校児童生徒へのパソコンを使った学習支援について検討しているか伺う

(6) 市内にはICT活用を行っている企業がいくつもあるが、当市独自のICT教育の一環として、それらの企業と学校が連携し、生徒達に実際のICT活用方法に触れてもらう機会をつくる考えはないか伺う。

2 町内会、マンション管理組合等の在り方について

(1) マンション管理組合等について

- ①「特定の管理組合」として成立しているマンション管理組合の数を伺う
- ②市が把握している、町内会等に属さないマンション管理組合の数を伺う
- ③特定の管理組合や、町内会等が受け取っている市の資料を受け取れていないマンション管理組合が、資料を受け取るための方法について伺う
- ④市の資料を受け取るための方法を、マンション管理組合設立時や、資料を受け取っていないマンション管理組合に周知しているか伺う

(2) 町内会等について

- ①町内会等の在り方について市の考えを伺う
- ②町内会等の加入率について伺う
- ③町内会等の加入率促進等における、市の今後の取り組みについて伺う

3 情報化政策、情報管理について

(1) 情報システムに関する業務継続計画（ICT-BCP）について

- ①災害時に停止する可能性のあるシステムについて伺う
- ②対象システムの停止時、代替方法にて継続可能な業務はどのようなものがあるか伺う
- ③対象システムの停止時、代替方法にて継続不可能な業務はどのようなものがあるか伺う
- ④ICT-BCPの策定について伺う
- ⑤情報システムに関する業務継続訓練が可能か伺う

(2) キャッシュレス対応について

- ①現在の状況について伺う
 - (ア) 税金等の支払いについて
 - (イ) 市内商業施設について
 - (ウ) 公共施設・自治体窓口について
- ②経済産業省や総務省が推進しているJPQR対応について伺う

(3) 職員の働き方改革について

- ①最近の働き方において変化のあったことを伺う
- ②RPA、AIの活用や実証実験について、調査されたか伺う

4 保育園、学童への評価制度の導入について

- (1) 小中学校、公立幼稚園が実施している評価制度について、保育園、学童への導入数は昨年度と比べて変化はあったか伺う
- (2) 厚生労働省の補助事業として日本保育協会が実施した「保育所等の情報公開・情報発信に関する調査研究」の結果について、把握されているか伺う
- (3) 自己評価、保護者からの評価を行っていない保育園、学童ではどのように自己点検等を行っているか伺う
- (4) 保育園、学童への評価制度の導入を検討したか伺う

質 問 1 5

質問者 17番 松 尾 榮 子

1 安全な道路の維持管理について

道路の植栽帯や公園、緑道の植栽、除草についてはこれまで何度か質問を行い、より細やかな対応が図られてきていると思うが、今回は植栽帯以外の道路の目地部分等の雑草対策、民有地からの樹木、また道路の白線等について対応を伺う。

- (1) 歩車道境界や中央分地帯の隙間や目地、ブロック舗装道路の目地等の雑草について。
- (2) 民有地から道路にはみ出し通行の妨げになっている樹木等の扱いについて。
- (3) 道路の白線(区画線)、横断歩道等(道路標示)の補修について。
 - ①市の管理道路について
 - ②国・県の道路について

2 小倉台小学校区における通学区域制度の弾力的運用の廃止について。

小倉台小学校区では中央駅南側の入居の増加に伴い、平成28年度から、隣接する内野小学校、原山中学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用が行われてきたが、今般、令和4年度いっぱいをもって弾力的運用の廃止の方針が示された。これについて伺う。

- (1) これまでの経緯と今回の廃止方針の理由について。
- (2) 小倉台小学校、内野小学校の状況(児童数・学級数)と将来見込みについて。

- (3) 弾力的運用が行われてきた平成28年度以降、小倉台小学校通学区域から内野小学校へ就学した児童数は何名か（年度ごとに）。
- (4) 地域、学校、保護者への説明はどのように行ったのか。
- (5) 学校適正規模・適正配置基本方針では、学級数が25以上の小・中学校を大規模校に分類し、短期的には学校施設の増改築、さらにその状況が続く場合には通学区域の見直し、さらに適正規模が安定的に確保できない場合には学校の分離・新設を検討する、と対応方針を挙げている。小倉台小学校の児童数、学級数は現在34学級、1,176人と適正規模を大幅に超えているが、概ね適正規模になるまで何年くらい続く見込みか。
- (6) 現在の状況は、中央駅南側の住宅建設や入居がほとんど進まなかった平成時代後半に、駅南側の小学校用地を廃止し、住宅用地に見直したことから始まっている。その時点ではタウンセンター地区には住宅建設の予定はなく、現在のような状況は想定されていなかったが、現在ではタウンセンター地区にも多くのマンションが林立し、その当時よりもさらに小学校が必要な状況である。根本的な解決法として、中央駅南側地区への小学校の分離・新設は検討しないのか。

3 職員提案制度について

- (1) 職員提案制度については平成29年9月、海老原議員の議会質問に対し、「今後職員がより提案しやすい環境づくりを行っていく」と答弁されているが、その後の提案状況はどうか。
- (2) ここ数年間で、松戸市や流山市等の県内の多くの自治体をはじめ全国各地の自治体で職員提案制度をリニューアルし、表彰制度を設けるなどして、より良い提案を募集し実現化しているが、こうした状況を把握しているか。
- (3) 上越市では、職員提案制度の枠を広げ、政策・事業提案、自由提案等の「職員提案」のほかに「業務改善事例」「ヒヤリハット事例」の報告を加えて、職員の業務上の経験をふまえた業務改善や注意事項、危機意識の共有を図っている。こうした手法を取り入れるべきと思うがどうか。
- (4) 現場で様々な事例にふれ、市民と応対する職員による前向きな提案が活発に行われるためには、受ける側にも提案を評価し、どんどん取り入れる前向きな取り組み姿勢が必要だが、そうしたプラス志向の雰囲気づくりは行われているか。

質 問 16

質問者 16番 増 田 葉 子

1 福祉サービスの監査・評価について

地方分権が進むなかで、以前は県が行っていた福祉事業の指定や認可が市に移管され、福祉サービスの「質」をどのように担保していくのか、市の責任が大きくなっています。急増した保育施設の「保育の質」が疑われる事案も耳にし、また、先般は小規模保育施設が突然の閉園となるなど、市民にとって懸念される事態もおきています。介護サービスも含め、市の監査体制について確認するため、以下、質問します。

- (1) 子ども・子育て支援制度で市が監査を行う必要がある施設はどのくらいあるのか。
- (2) 県の行う監査と市に求められる監査は役割に違いがあるのか。
- (3) 介護サービスの地域密着型などの監査はどのように行われているのか。
- (4) 居宅介護支援事業の監査体制は構築されているのか。
- (5) 市内の福祉施設の第三者評価の実施率を把握しているのか。

2 コロナ禍で不登校とどう向きあうか

文部科学省の調査によると、昨年度、不登校といわれる児童・生徒の数は全国で18万人を超え、コロナ禍でスタートした今年度は、昨年度より不登校が増えたとする学校が2割を超えているという報道もありました。印西市の現状はどうでしょうか。教育センターにおかれている「緑のまきば」も、通所する児童・生徒が増加し、本埜公民館の空き室を活用してもう一箇所増やす計画であると聞いています。現状を確認したく、以下、質問します。

- (1) いわゆる「登校しぶり」も含め、学校に行きづらくなっている児童・生徒は何人になるか。また、コロナ禍以前と比較して何か変化はあったのか。
- (2) 昨年度、不登校のまま義務教育を終えた生徒は何人いたか。
- (3) 不登校への支援体制は、現状に対応しているか。
- (4) 教育機会確保法をふまえ、民間の取り組みと連携する考えはあるか。

質 問 17

質問者 18番 軍 司 俊 紀

1 新型コロナウイルスの感染拡大についての印西市の施策について

新型コロナウイルス感染が、再び増加傾向にある現状で印西市では市内企業や市民に対してどのような支援を考えているのか。過去2回の定例会での質疑を踏まえて、現状や進捗を確認する。

- (1) 9月定例議会では新たな支援策に対して「他自治体の情報を収集するとともに、現在実施している『市民満足度・重要度調査』で市民の声、意向を把握し、今後の更なる対策を検討していきたい。」との答弁があったがどのような状況か。
- (2) 感染拡大への備えについて、以下の項目についてどのように考えているか。
 - ①医療情報の提供（予防策、発熱外来、PCR検査等）
 - ②子どもたちの日常生活環境（教育・保育等）

2 保育園の運営と待機児童対策について

- (1) 小規模認可保育所「にこにこルーム原山」の閉園に伴う経緯と現状については、既に承知しているが、今後、同様のケースが発生することも否めない中で国や県とどのような連携を図り、また市として保育施設を運営する各法人や会社に対してどのように対応していくのか。
- (2) 令和3年度保育園利用に対する1次申請が11月30日までとなっていたが、希望者に対してどのように調整を図り、2次申請を行っていくのか。

3 インフルエンザワクチンの接種について

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念される中、多くの市民がインフルエンザワクチンの接種を希望しているが、市民から「市内で接種できる場所はなく、市外で接種している。」という声が届く。印西市は現状を是認するのか。

4 在宅介護実態調査の実施について

第8期計画の策定にあたり、高齢者の生活実態や要望、課題等を把握する基礎資料とすることを目的に実施された実態調査の結果報告が公開された。結果報告を読むと「主な介護者の方について」という項目があるが、家族の介護や世話を追われる子どもたち「ヤングケアラー」について調査を行う必要はなかったのか。

5 牧の原駅圏の将来について

印西牧の原駅圏には現在25,000人(約9,000世帯)が居住しているが、人口に比して公共施設が充実しているとは言えない。駅圏の将来像をどのように市民に説明していくのか。

- (1) 市公共施設、コミュニティ施設の設置(公民館、出張所等)
- (2) 教育施設等の設置(学校、学童保育、児童館、図書館)